

入院稼働状況の推移

項目	H26	H27	H28	H29	H30 a	H31(R01)		対前年度 (b-a)/a
						4~11月 (実績)	年間見込 b	
許可病床数(年度末)(床)	450	450	450	450	450	450	450	
稼働病床数(年度末)(床)	435	435	435	435	435	435	435	
実稼働病床数(年度末)(床)	409	406	414	419	426	430	430	
延稼働病床数(床)	140,547	159,210	158,775	158,775	158,775	106,140	159,210	
延実稼働病床数(床)	136,259	149,238	149,646	152,020	154,209	104,188	156,648	
入院診療日数(日)	365	366	365	365	365	244	366	
延入院患者数(人)	122,540	134,328	142,764	144,321	146,064	95,607	(146,766) 144,570	
一日平均入院患者数(人)	335.7	367.0	391.1	395.4	400.2	391.8	(401.0) 395.0	
新入院患者数(人)	9,054	10,331	10,681	11,569	11,957	8,239	(12,231) 12,463	+4.2
救急車(人)	1,057	1,351	1,432	1,707	1,873	1,371	2,074	+10.7
紹介(人)	4,905	3,855	4,076	4,359	4,384	3,072	4,647	+6.0
外来(人)	3,092	5,125	5,173	5,503	5,700	3,796	5,742	+0.7
退院患者数(死亡含む)(人)	9,000	10,305	10,704	11,584	11,946	8,236	12,463	
平均在院日数(日)	13.6	13.0	13.4	12.5	12.2	11.6	(12.0) 11.6	
病床利用率(稼働)(%)	87.2	84.4	89.9	90.9	92.0	90.1	90.8	
病床利用率(実稼働)(%)	89.9	90.0	95.4	94.9	94.7	91.8	92.3	

※()欄は、当初目標です。

※赤字の数値は、4~11月実績に基づく年間推計値です。

【稼働状況と分析】

平成31年度(令和元年度)の延入院患者数は、当初目標を下回る見込みです。

新入院患者数は当初目標を上回る見込みですが、平均在院日数が当初目標より短縮したため、延入院患者数が減少しています。

当初目標の延入院患者数を達成するために必要な新入院患者の確保ができていない状況です。

【新入院患者数の増加要因】

新入院患者数の増に関連する項目の平成31年度(4~11月)と、前年度同期を比べると、一月平均救急搬送受入件数が、48.1件(15.4%)増の360.1件
紹介率が、6.3%(8.7%)増の78.5% と順調な稼働状況です。

【延入院患者数の当初目標達成のため、必要な新入院患者数】

必要な新入院患者数 12,652人 (延入院患者数 146,766人 ÷ 平均在院日数 11.6日)

年間見込から 189人不足 (新入院患者数 見込12,463人 - 必要数12,652人)

一月当たり 15.75人不足

【今後の取り組み】

今後の新入院患者数の更なる増加のため、救急隊との連携を維持するとともに、地域医療連携や入退院支援等患者総合サポート体制の強化を図ります。

具体的には、現在の「地域医療連携室」の体制を強化するため、来年度から地域医療連携及び入退院支援を行う「(仮称)患者総合サポートセンター」を設置する予定です。